

令和3年度 波野小学校グランドデザイン

●鹿嶋市教育目標
一人一人の能力を開発し豊かな人間性をつちかう
健康と安全の確保に努め 活力ある心を育てる
郷土の理解を深め 郷土を愛する心を養う



学校教育目標

一人一人が主役になり生き生きと学ぶ児童の育成

基本理念 **すべては子供たちのために**

「すべては子供たちのために」をキーワードに、職員みんなで力を合わせ、これからの未来を担う「波野っ子」の育ちを支えていきます。
一人一人がもっている可能性を最大限に引き出すために、私たち教師も「ともに学び、ともに育ち」ます。



こんな学校を目指します

- ◎ 絆づくり：家庭・地域との絆を深める「地域とともにある学校」
- ◎ 居場所づくり：子供たちが安心して 楽しく学べる学校
- ◎ 授業づくり：授業の改善・充実を図り 子供たちの学力を伸ばす学校
- 全職員が「チーム波野小」として協働・連携し 充実した教育活動ができる学校（働き方改革：超過勤務時間45時間以内達成85%以上）

こんな児童を育てます

- ◎ 自分のよさ 友達のよさ 波野のよさが 分かる子
- ◎ 礼儀正しく思いやりのある心をもって人に接することができる子
- ◎ 自分のすべきことが分かり 自ら取り組むことができる子
- 夢や希望をもち その実現に向けて粘り強く努力する子

社会に開かれた教育課程

① なかよく 絆づくり

- ①「いろいろな活動が楽しみ」と回答する児童 90% (R2:81%)
- ②「家庭・地域と連携・協力している」と回答する保護者 90% (R2:88%)
- ③「情報をよく発信している」と回答する保護者 95% (R2:93%)

1 共感的な人間関係の構築

- 話し合い活動や体験活動を通じた関わりを大切にした学級活動の充実

2 子どもを主体とした学校、家庭及び地域の連携

- 地域教材や地域人材を生かした学習活動の工夫
- 郷土に対する愛情や理解を深める取組の企画・運営
- あいさつ運動やさわやかマナーアップ運動の推進

3 積極的な情報発信

- 学校ホームページ、各種たより等による情報発信の工夫
- 学校評価の工夫改善、波野っ子学校運営協議会の計画的活動

② みとめて 居場所づくり

- ①「教室は安心できる」と回答する児童 95% (R2:91%)
- ②「安心感、所属感ある環境づくり」の実践 100% (R2:100%)
- ③「いじめのない学校づくりに取り組んでいる」と回答する保護者 95% (R2:90%)

1 互いのよさを認め合い、協力して楽しく生活できる関わり推進

- 人権意識の醸成・・・「学校いじめ防止基本方針」の実現化
- 道徳科「考え、議論する道徳」の質の向上
- 児童会活動の活性化と学校行事の充実

2 自己存在感や充実感を感じられる場づくり

- 児童からの小さなサインを見逃さず、機を逸さない迅速な対応
- 配慮が必要な(気になる)児童についてチーム支援会議の随時開催

3 学校内外の安全管理の徹底

- 避難(防災)訓練、交通安全教室等の実施と工夫
- 危険予測・危険回避能力向上のための指導の徹底
- 毎月の安全点検や保護者・地域「波パト」との連携強化

③ ばす 授業づくり

- ①「授業が分かりやすい」と回答する児童 100% (R2:97%)
- ②「興味や意欲を高める授業をしている」と回答する児童 100% (R2:96%)
- ③「個に応じた指導をしている」と回答する保護者 95% (R2:91%)

1 「分かる・できる」を実感できる授業の実践

- 学習意欲を高める学習課題の設定や考えを広げたり深めたりする発問の工夫
- 一人一台端末の活用等による個別最適な学び、協働的な学びの充実
- ユニバーサルデザインを取り入れた授業の実践(課題提示・教材開発)

2 言語能力の確実な育成

- 各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせた学習
- 情報を整理分析し、論理的にまとめ表現する活動の工夫
- 学校図書館の活用や言語能力の磨き

3 これから必要となる教職員の意識・指導力の向上

- 一人一台端末の活用等における授業づくりのための校内研修
- ICT機器を活用した情報能力を高める指導方法の工夫改善
- 特別な配慮を必要とする児童に適切に対応できる特別支援教育の充実

子どもの可能性

潜在能力

- 自己肯定感の高揚
 - 「いいところ発見」の推進
 - 児童一人一人の活躍の場の設定
- よりよい生活習慣の育成
 - よりよい生活リズム「早寝・早起き・朝ごはん」
 - 「波野っ子」の生活のきまりの共通実践
- キャリア教育の推進
 - 自然体験活動・職業体験活動の実施
 - 自己の可能性の発見や実現に向けたキャリア・カウンセリング
 - 夢の実現に向けたキャリア・パスポートの活用

家庭力

家庭で取り組んでほしいこと

- 自分のことは自分でできる子供に
 - ・一人で起きられる
 - ・身だしなみが整えられる
- 生活のリズムが整った子供に
 - ・早寝、早起き、食事、排便が適切にできる
 - ・時間を守る
- まわりの人と積極的に交流する子供に
 - ・あいさつ返事
 - ・相手の目を見て「話す・聞く」
 - ・地域の行事に参加する
- よりよく生きようとする子供に
 - ・善悪の正しい判断
 - ・決まりを守り、我慢できる
 - ・夢や希望をもつ

信頼される教師

指導力

- 研修を積み重ね、様々な知識を身に付けた指導力のある教師
- 子供の気持ちに寄り添い、心身の状態に気付ける教師
- 子供のよいところを見つけ、夢や希望をもたせられる教師
- 子供を驚かす魅力ある教師
- 子供を笑顔にさせる明るい教師